

自然環境を守り、安心して暮らせる社会を創る

北陽建設株式会社

Hokuyo construction Co., Ltd



®環境省  
エコアクション21  
認証番号0007075

# 環境経営レポート

*From* 2019/06/01 *to* 2020/05/31

*Issue Date* 2020/09/18



## 目 次

環境活動の対象組織・活動範囲	• • •	1
環 境 方 針	• • •	3
環境目標《中長期目標》・環境活動計画	• • •	4
環境目標に対する実績	• • •	5
環境活動計画の取組結果とその評価	• • •	6
次年度の取組内容	• • •	10
環境活動の紹介	• • •	11
環境関連法規制等の遵守状況	• • •	13
代表者による全体評価と見直しの結果	• • •	15



## 5.事業の規模

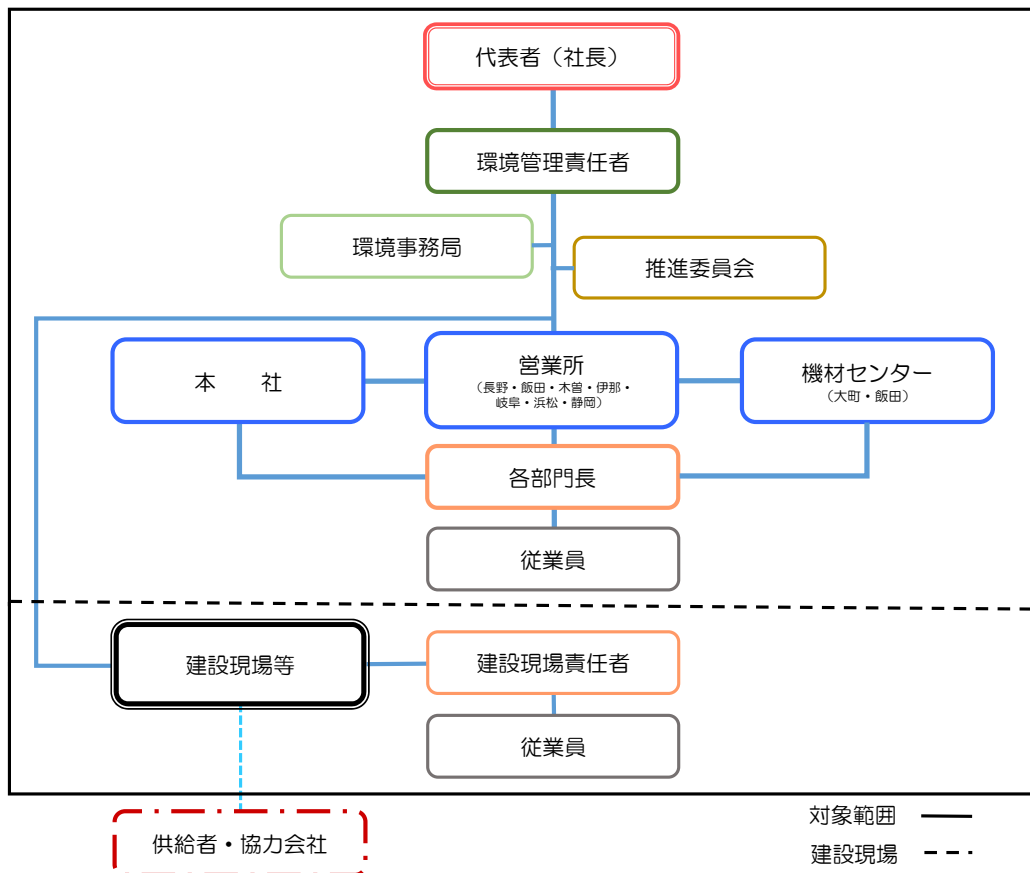
【完成工事高】 72億7540万円 (2019/06/01 ~ 2020/05/31)

【従業員数】 176名

## 6.事業施設

区分	施設名	就労数	床面積 (㎡)	施設名	就労数	床面積 (㎡)
EA21 対象範囲 事業所	本社	84	1,968.83	静岡営業所	7	253.91
	長野営業所	17	297.26	大町機材センター	8	129.42
	飯田営業所	30	458.46	飯田機材センター	3	54.61
	木曾営業所	7	128.66	大町機材センター	倉庫	3,065.06
	伊那営業所	8	416.15	飯田機材センター		540.00
	岐阜営業所	7	185.00	大町機材センター	資機材置場	3,785.85
	浜松営業所	5	149.54	飯田機材センター		1,279.79
EA21 対象外 事業所	松本営業所(非常勤)	他社事務所の一部を賃貸				
	中津川営業所(非常勤)	他社事務所の一部を賃貸				

## 7.認証・登録の対象範囲（全組織・全活動）



# 環境方針

## ■ 基本理念

北陽建設株式会社は、長野県を中心として、厳しい自然環境とともにフォッサマグナという複雑な地質構造で磨いた高い技術力と自然への想いを事業活動に活かすため、環境に配慮した設計・施工の普及に努力し、《豊かな自然環境》《地域社会》と事業活動の隆盛を併立させるとともに、当社の事業活動が地球環境に様々な影響を与えていることを自覚し、環境負荷を可能な限り小さくするために、エコアクション21環境経営システムの運用、継続的改善に努め、常に環境への取組を自主的・積極的に行い、持続可能な循環型社会を実現する活動を全社員で取組んでまいります。

## ■ 基本方針

基本理念に基づき、以下の事項について取組んでいきます。

### 1. 環境に配慮した設計・施工の実践

各部門において環境配慮取組み目標3件以上。

### 2. 省資源・省エネルギーへの取組

建設資材の省資源および環境配慮機能を携えた資機材の利用、水資源の節水、コピー用紙の削減、グリーン購入

### 3. 廃棄物の削減・リサイクルの推進

事業活動で生じる廃棄物の3R『削減、再利用、再資源化』に努める。

### 4. 二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）削減の取組

電力・化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

### 5. 環境関連法規の順守

事業活動を行う上で当社が守らなければならない環境関連法規や条例等を明らかにし、またその他要求事項を遵守する。

### 6. 環境啓発活動の推進

環境保全に関する啓蒙・啓発活動を実施するとともに、地域での社会貢献活動に努めます。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努め、環境関連規制や当社が約束したことを遵守します。

制定:2010年07月26日

改定:2015年06月01日

北陽建設株式会社

代表取締役 原 滋俊

# 環境目標《中長期目標》・環境活動計画

環境目標《中期目標》・環境活動計画  
活動期間：2019/06～2022/05

項目	環境目標	環境活動	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	室内不在時、昼休時に消灯 励行	
		パソコン・電気機器の未使用時には電源OFF	
		冷暖房の適正温度厳守（冷房28℃、暖房20℃）	
		外気の適正取込み	
	ガソリン使用量の削減	アイドリングストップ	
		エコ運転及び相乗りの実施	
		法定速度厳守	
	軽油使用量の削減	重機、機材への過剰な負荷の防止と定期自主検査を実施	
		燃費の優れた建設機械の選択 適切かつ効率的な運転に努める	
	灯油使用量の削減	暖房の適正温度厳守（20℃） 適度な使用、消し忘れを防ぐ サーキュレーター等の空調設備を利用する	
LPG使用量の削減		給湯器の適温利用 夏季給湯利用の節約	
資源の使用量削減	水道水の使用削減	水道栓の閉鎖をこまめに実施 蛇口はきちんと締めて漏水の防止	
		コピー用紙の削減	使用済み用紙の裏面再使用の徹底 両面印刷、複数ページ集約印刷の徹底 文書の電子化、印刷ミス・余剰の防止
	廃棄物の3Rの促進	一般廃棄物の削減	分別の徹底 帳票見直しによる印刷物の削減 梱包材の再利用
産業廃棄物の削減			素材別ボックスの設置 リサイクル業者の開拓と利用 作業ミスによる廃棄量の削減 遊休資材の活用
			事務用品のグリーン購入

## 3カ年の環境目標

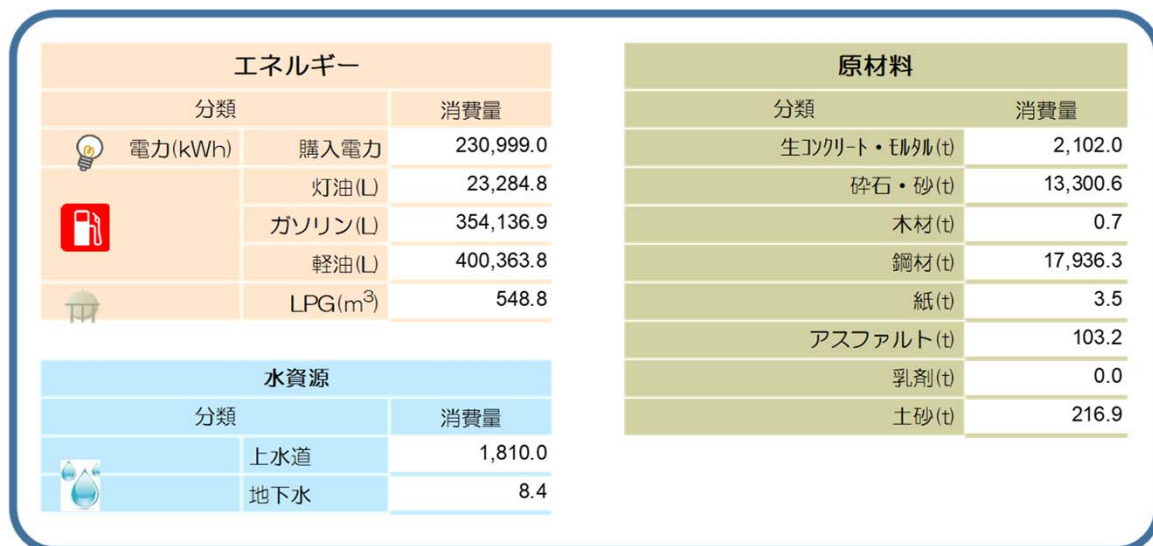
環境目標項目	単位	2018年度 実績 (2018/6～2019/5)	2019年度 目標 (1%削減)	2020年度 目標 (2%削減)	2021年度 目標 (3%削減)
1.CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	1,741.7	1,724.3	1,706.9	1,689.4
2.電力	kwh/年	217,528.0	215,352.7	213,177.4	211,002.1
3.ガソリン	ℓ/年	235,827.0	233,468.7	231,110.5	228,752.1
4.軽油	ℓ/年	387,407.0	383,532.9	379,658.9	375,784.7
4.LPG	m <sup>3</sup> /年	879.0	870.2	861.4	852.6
5.灯油	ℓ/年	27,324.0	27,050.7	26,777.5	26,504.2
6.一般廃棄物	t/年	1.1	1.09	1.08	1.07
7.産業廃棄物	t/年	1,927.0	1,907.7	1,888.5	1,869.1
8.水道水	m <sup>3</sup> /年	2,048.0	2,027.5	2,007.0	1,986.5
9.コピー用紙	t/年	2.63	2.60	2.58	2.55

※1 2018年度の実績を基準年とし、2019年度は1%削減、2020年度までに2%の削減、2021年度までに3%の削減を目標とする。

# 環境目標に対する実績

2019年度（2019/06～2020/05）

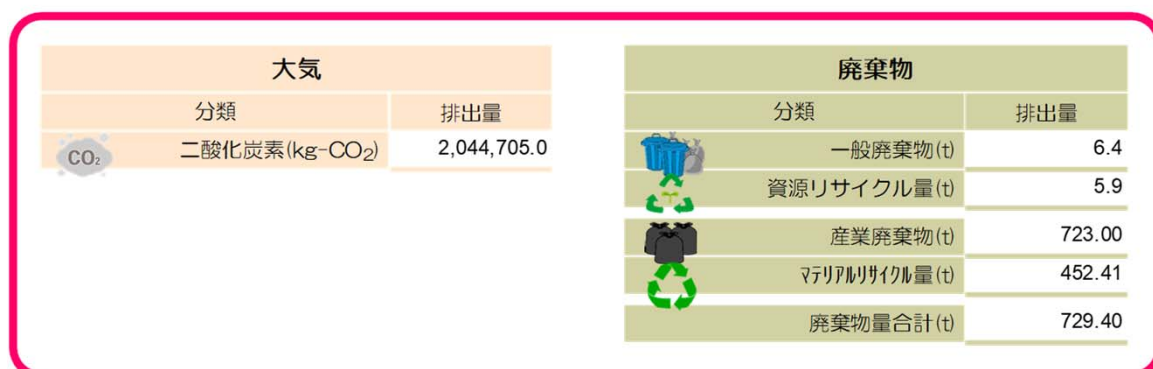
事業活動マテリアルバランス



INPUT

**HOKUYO** 北陽建設 事業活動

OUTPUT



# 環境活動計画の取組結果とその評価

## 年度削減目標と実績値の比較

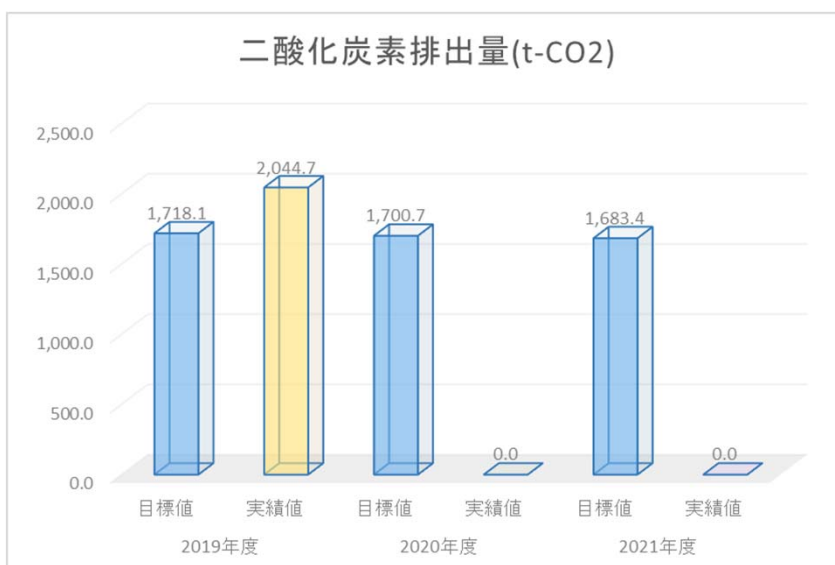
環境目標項目	単位	2019年度削減目標	2019年度実績値	目標比	評価
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	1,718,076	2,044,705	19.0%	×
電力	kwh/年	215,352	230,999	14.1%	×
	kg-CO <sub>2</sub> /年	98,416	112,266		
ガソリン	L/年	233,468	354,137	51.7%	×
	kg-CO <sub>2</sub> /年	542,114	822,306		
軽油	L/年	383,532	400,364	4.4%	×
	kg-CO <sub>2</sub> /年	1,004,473	1,048,554		
LPG	m <sup>3</sup> /年	870.2	549	-36.9%	○
	kg-CO <sub>2</sub> /年	5,743	3,623		
灯油	ℓ/年	27,050	23,285	-13.9%	○
	kg-CO <sub>2</sub> /年	67,329	57,956		

※目標比は各項目CO<sub>2</sub>排出量と比較

一般廃棄物	kg/年	1,070	532	-50.31%	○
産業廃棄物	t/年	1,908	723	-62.1%	○
水道水	m <sup>3</sup> /年	2,028	1,818	-10.34%	○
コピー用紙	kg/年	2,602	3,477	33.64%	×

※実績値については小数点切上げ

(評価：達成 ○、未達成 ×)

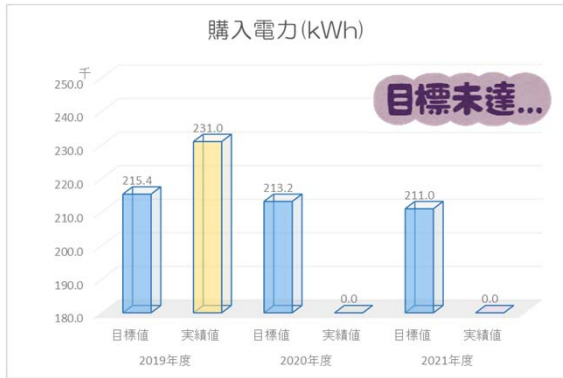


排出係数  
中部電力2018年 0.457kg-CO<sub>2</sub>/kWh

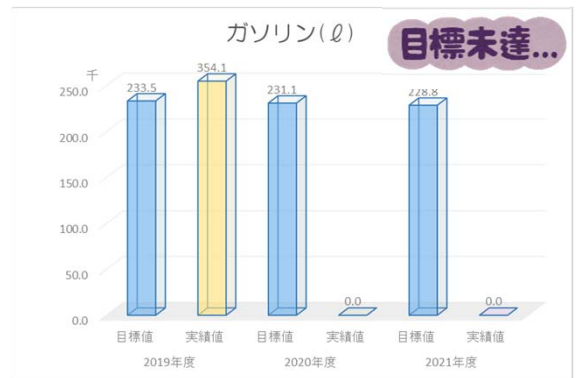
2019年度の二酸化炭素排出量は 2,044.7 t-CO<sub>2</sub>  
目標数値に対して **19.0%の増加**

目標未達...

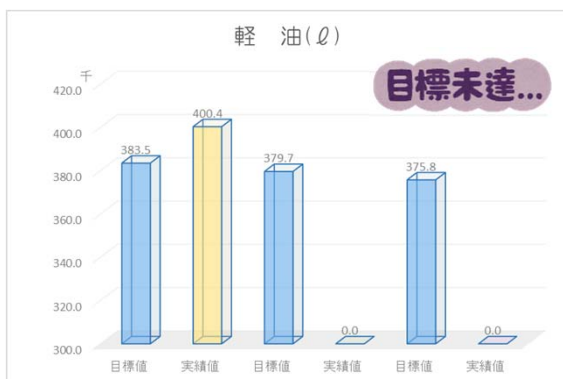




2019年度の購入電力量は 230,999kWh  
削減目標に対して **14.1%の増加**



2019年度のガソリン使用量は 723ℓ  
削減目標に対して **51.7%の増加**



2019年度の軽油使用量は 400,364ℓ  
削減目標に対して **4.4%の増加**



2019年度のLPG使用量は 549m³  
削減目標に対して **36.9%の減少**



2019年度の灯油使用量は 23,285ℓ  
削減目標に対して **13.9%の減少**

電力・化石燃料の消費については、前年より増加してしまった。  
「ガソリン」については人員の増加及び営業所への応援により、現場までの移動に要する使用量が増えたため増加してしまった。  
「LPG」については大幅に削減できた。  
「灯油」についても暖房機器を使用したものの削減目標内に収まった。  
「軽油」は現場数が増加したことにより前年より増加となった。



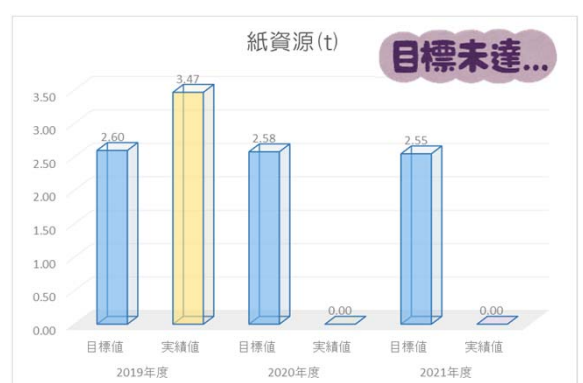
2019年度の一般廃棄物量は 0.5t  
削減目標に対して **50.31%の減少**



2019年度の産業廃棄物量は 1,926t  
削減目標に対して **62.1%の減少**



2019年度の水道水使用量は 1,818m³  
削減目標に対して **10.34%の減少**



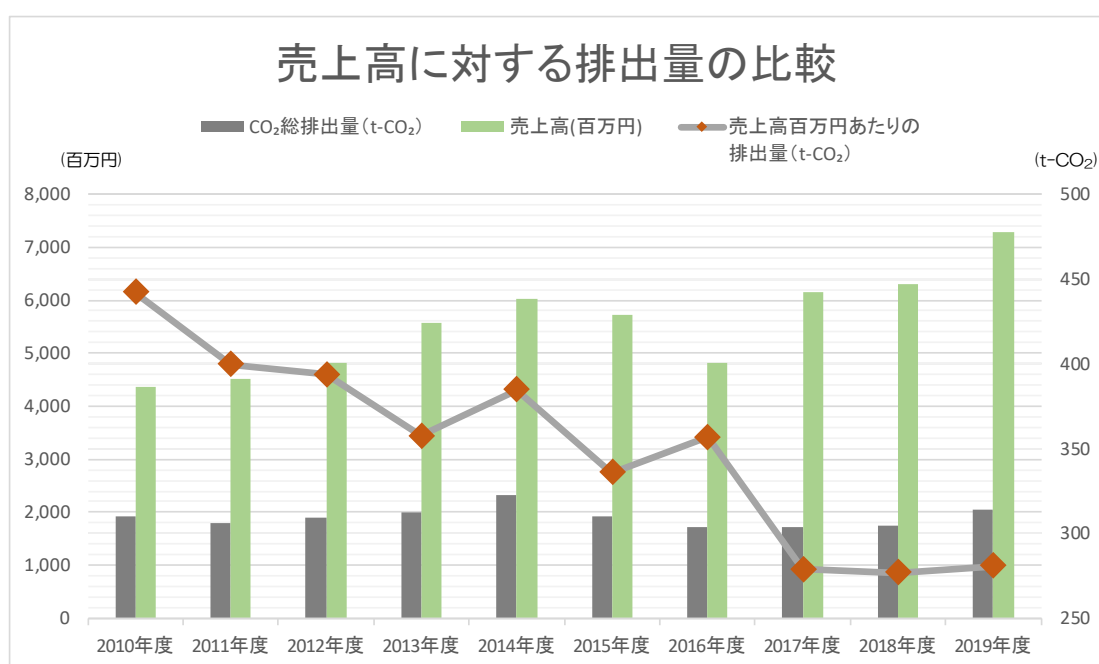
2019年度のコピー用紙使用量は 3.4t  
削減目標に対して **33.64%の増加**

廃棄物の削減、資源の消費については、  
 「一般廃棄物」は大幅に目標達成することができた。  
 「産業廃棄物」は元請工事量の減少に伴い排出量が減少した。  
 産業廃棄物については、マニフェストで適正に管理されている。  
 「水資源」は減少したが、近年は酷暑になることが多く体に負担がかからない範囲で、今後も節水に取り組んでいく。  
 「紙資源」は全体業務数の増加に伴い提出用のプリントアウトが増えたため増加した。

## 売上高に対するCO<sub>2</sub>排出量の比較

売上高 百万円当りでのCO<sub>2</sub>排出量を過去の実績から比較してみると、エコアクション21導入時と比べて**36.4%の削減**につながった。

項目 \ 事業年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
CO <sub>2</sub> 総排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	1,930	1,804	1,896	1,992	2,318	1,923
売上高(百万円)	4,368	4,515	4,814	5,576	6,026	5,727
売上高百万円あたりの排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	442	400	394	357	385	336
項目 \ 事業年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		
CO <sub>2</sub> 総排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	1,721	1,716	1,741	2,044		
売上高(百万円)	4,825	6,152	6,291	7,275		
売上高百万円あたりの排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	357	279	277	281		



## 次年度の取組内容

次年度(2020年度)の取組内容				
	環境目標項目	基準年(2018年度)	目標値	達成手段
電力・化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	<b>電力の削減</b> 基準年から1%削減	電力使用量 217,528 kWh CO <sub>2</sub> 排出量 99,410 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	電力使用量 213,177 kWh CO <sub>2</sub> 排出量 97,442 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内不在時、昼休時に消灯励行</li> <li>・パソコン・電気機器の未使用時には電源OFF</li> <li>・冷暖房の適正温度厳守(室温 冷房28℃、暖房20℃)</li> <li>・外気の適正取込み</li> <li>・照明器具の定期的な清掃、交換を行う</li> </ul>
	<b>ガソリンの削減</b> 基準年から1%削減	ガソリン使用量 235,827 L CO <sub>2</sub> 排出量 547,591 kg-CO <sub>2</sub> /L	ガソリン使用量 231,110 L CO <sub>2</sub> 排出量 536,638 kg-CO <sub>2</sub> /L	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップ</li> <li>・エコ運転及び不用な荷物をおろす、相乗りの実施</li> <li>・法定速度厳守</li> </ul>
	<b>軽油の削減</b> 基準年から1%削減	軽油使用量 387,407 L CO <sub>2</sub> 排出量 1,014,620 kg-CO <sub>2</sub> /L	軽油使用量 379,658 L CO <sub>2</sub> 排出量 994,327 kg-CO <sub>2</sub> /L	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重機、機材への過剰な負荷の防止と定期自主点検を実施</li> <li>・燃費の優れた建設機械の選択、</li> <li>・適切かつ効率的な運転に努める</li> </ul>
	<b>LPGの削減</b> 基準年から1%削減	LPG使用量 879 m <sup>3</sup> CO <sub>2</sub> 排出量 5,802 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	LPG使用量 861 m <sup>3</sup> CO <sub>2</sub> 排出量 5,685 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給湯器の適温利用</li> <li>・夏季給湯利用の節約</li> <li>・暖房の適正温度厳守(室温 暖房20℃)</li> </ul>
	<b>灯油の削減</b> 基準年から1%削減	灯油使用量 27,324 L CO <sub>2</sub> 排出量 68,009 kg-CO <sub>2</sub> /L	灯油使用量 26,777 L CO <sub>2</sub> 排出量 66,649 kg-CO <sub>2</sub> /L	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暖房の適正温度厳守(室温 20℃)</li> <li>・過度な使用、消し忘れを防ぐ</li> <li>・サーキュレーター等の空調設備を利用する</li> </ul>
廃棄物の3Rの促進	<b>一般廃棄物の削減</b> 基準年から1%削減	廃棄物量 1,081 kg	廃棄物量 1,059 kg	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底</li> <li>・帳票見直しによる印刷物の削減</li> <li>・梱包材の再利用</li> </ul>
	<b>産業廃棄物の削減</b> 基準年から1%削減	廃棄物量 1,927 t	廃棄物量 1,888 t	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材別ボックスの設置</li> <li>・リサイクル業者の開拓と利用</li> <li>・作業ミスによる廃棄量の削減</li> <li>・遊休資材の活用</li> </ul>
水道水の削減	<b>水道水の削減</b> 基準年から1%削減	水使用量 2,048 m <sup>3</sup>	水使用量 2,007 m <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道栓の開閉をこまめに実施</li> <li>・蛇口はきちんと締めて漏水の防止</li> </ul>
コピー用紙の削減	<b>コピー用紙の削減</b> 基準年から1%削減	用紙使用量 2,628 kg	用紙使用量 2,575 kg	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済み用紙の裏面再使用の徹底</li> <li>・両面印刷、複数ページ集約印刷の徹底</li> <li>・文書の電子化、印刷ミス・余剰の防止</li> </ul>
グリーン購入	<b>事務用品のグリーン購入</b>	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト面を考慮しながら、環境対応マークの付いた文房具の購入を推進する</li> </ul>
環境保全活動	<b>環境に配慮した設計提案、施工の実践</b>	—	各部門 3件以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境配慮型の設計・施工、社会貢献活動など</li> </ul>

# 環境活動の紹介

## 農具川河川愛護活動及び道路美化活動

毎年、本社近くを流れる【農具川】に生息する特定外来生物《アレチウリ》の駆除及び河川内のゴミ拾い、周辺道路のゴミ拾いを行いました。



令和元年6月、9月実施

## 「エコキャップ運動」の継続取組

NPO法人 エコキャップ推進協会で取組まれている「エコキャップ運動」に継続して参加しています。

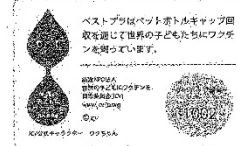


キャップ収集累計個数：9,890個  
CO<sub>2</sub>削減累計：23.0kg

### ペットボトルキャップ受領書

2019年 11月 7日

北陽建設株式会社  
担当者：総務部 鷹巣 泰久 様



ベストプラ株式会社  
〒784-0005 兵庫県小幡市大字和田483-33  
TEL 0267-22-2286  
FAX 0267-22-2269  
担当：芝崎

この度は、回収させていただきました。誠にありがとうございました。  
ご提供いただいたエコキャップは、弊社にて再生プラスチック原料としてリサイクルしております。  
その資金を困難途上国の子どもたちの未来を守るためにワクチンを贈る活動を行う民間の国際支援団体「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に寄付し、活動を支援致します。

受取日	数量	個数	寄付金額
2019年 11月 7日	17.5 kg	7,525 個	88 円

1kg=5円での計算となります。21kg=430個となります。

\*今回のキャップをゴミとして棄却した場合のCO<sub>2</sub>発生量 ⇒ 55.1 kg  
(キャップ1kgで3,150gのCO<sub>2</sub>削減につながります)

\*今回の数量をポリオワクチンに換算 ⇒ 4.4 人分  
(ポリオワクチン1人分=キャップ4kg分=20円)

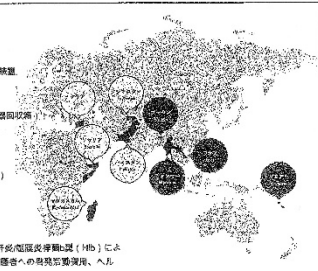
ご協力ありがとうございました。貴社のご厚意を大切に、寄付することを、お約束致します。

#### 2018年 支援総額：1億1,107万1,109円

- ※ミンカンマー 4,532万4,000円
- ※コートチエン支援 造紙製 63万8,300本  
ソーラー集熱器50台、アイスライン集熱器75台、炊飯計、洗米圧搾機
- ※ラオス 2,185万4,563円
- ※洗米計50台
- ※BCG 450,000人分、注射器、セーフティボックス ( 使用済み注射器回収 )
- ※アータン 2,286万2,162円
- ※定額子供給食支援
- ※産科ポリオ 100,000人分、MMR (おたふく病予防4種ワクチン)  
48,000人分、BCG 48,000人分、DPT (ジフテリア/百日咳/破傷風)  
31,000人分、TD (破傷風/ジフテリア) 142,000人分、破傷風  
27,000人分、アイスライン集熱器5台、炊飯器
- ※バヌアツ 2,101万0,394円
- ※定額子供給食支援
- ※不活化ポリオ 18,200人分、注射器、セーフティボックス、保護者への感染予防説明、ヘルスワーカー研修費用

#### 【ワクチンの代金】

- \*ポリオワクチン20円
- \*MMR (おたふく病、三日ばしか) 約110円
- \*BCG (結核菌) 7円
- \*おたふく病 約60円
- \*DPT (ジフテリア、百日咳、破傷風) 約60円
- \*五種ワクチン (DPT+B破傷風+MMR) 約112円



■ 台風19号災害ボランティアへの参加

甚大な被害をもたらした台風19号災害のボランティア活動へ参加。（計2回）



# 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

## 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

当社の企業活動に伴い、適用される環境関連法規等は下記の通りです。  
環境管理責任者と事務局が中心となり、法規制の遵守状況について調査を行い、環境管理責任者が遵守の評価を行います。

2020/05/31

法律・規制等の名称	当社に適用される要求事項	当社の対応	届出先	担当部門	評価時期	証拠となる記録等	遵守状況	
							環境 責任者 管理	事務局
							評価	確認
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	(産業廃棄物の保管) ・掲示板設置(60cm×60cm以上で種類、管理者名、連絡先、積上げ高さを表示) ・保管施設の飛散、流出及び地下浸透しない措置 ・ネズミ、蚊、ハエその他害虫発生防止 ・他の廃棄物が混入しないような措置 ・種類別の措置	・基準に適合した措置	—	機械センター	日常点検	現物監視	適	適
	(産業廃棄物の委託) ・知事の許可を受けた収集運搬業者、処理業者と契約 ・委託契約は書面で ・委託処理内容など必要事項記載 ・収集運搬業者又は処理業者の許可証の確認	・委託基準の遵守	—	排出部門	毎年5月	委託契約書 許可証写し	適	適
	(産業廃棄物管理票) ・全ての産業廃棄物に産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付	・排出部門が記載	—	排出部門	毎年5月	産業廃棄物管理票 (マニフェスト)	適	適
	・産業廃棄物管理票(マニフェスト)B2票、D票、E票を5年保存 ・90日以内にB2、D票、180日以内にE票の送付がない場合は、業者へ照会し、状況を30日以内に行政へ報告	・A票と併せてファイルに保管 ・毎月1回チェック	—	排出部門 知事	毎年5月 1回/月	産業廃棄物管理票 未回収報告書	適	適
	(産業廃棄物管理票交付等状況報告) ・前年度の交付状況を報告 ・中間処理業者の交付する2次マニフェストも報告 ・県内で排出したものに限り	毎年4月1日～6月30日の間に提出	知事	安全室	毎年7月	交付等状況報告書	適	適
	・一般廃棄物の分別収集と指定ゴミ袋で運搬	ゴミ出しルール遵守	—	総務部	日常点検	現物監視	適	適
資源有効利用促進法 (改正リサイクル法) (資源の有効な利用の促進に関する法律)	(建設工事の届出) ・体積が1000m <sup>3</sup> 以上である土砂 ・重量が500tである砕石 ・重量が200t以上である加熱アスファルト混合物	対象工事受注時、竣工時に書面作成し、発注者に説明	発注者	工事部門	1回/年	・再生資源利用計画/実施書 ・再生資源利用促進計画/実施書 ・CREIDAS入力	適	適
建設リサイクル法 (建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	(建設工事の届出) ・解体工事：床面積の合計が80㎡以上 ・新築又は増築の工事：床面積の合計が500㎡以上 ・新築、増築、解体以外の工事：請負代金が1億円以上	対象工事受注時、竣工時に書面作成し、発注者に説明	発注者	工事部門	1回/年	説明書・告知書・再資源化報告書	適	適
騒音規制法	(特定建設作業の届出) ・指定地域内で特定建設作業を行う場合は、7日前までに市町村長へ届出 ・くい打機、くい打くい抜機を使用する作業 ・びょう打機を使用する作業 ・削岩機を使用する作業 ・空気圧縮機(原動機の定格出力15kw以上)を使用する作業 ・コンクリートプラント(混練容量0.45㎡以上)、アスファルトプラント(混練重量200kg以上)を設けて行う作業 ・バックホウ(原動機の定格出力80kw以上)を使用する作業	規制遵守	市長村長	工事部門	1回/年	届出控	適	適
振動規制法	(特定建設作業の届出) ・指定地域内で特定建設作業を行う場合は、7日前までに市町村長へ届出 ・くい打機、くい打くい抜機を使用する作業 ・鋼球を使用して建築物その土地の工作物を破壊する作業 ・舗装破砕機を使用する作業 ・ブレーカーを使用する作業	規制遵守	市長村長	工事部門	1回/年	届出控	適	適
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程	(対象事業が公共工事の場合) ・小型バックホウ、バックホウ、トラクタショベル、ブルドーザ、発動発電機、空気圧縮機、油圧パワーユニット、ロードローラ、タイヤローラ等	対策型ステッカー貼付の建設機械使用	発注者	工事部門	公共工事の都度	ステッカー確認	適	適

法律・規制等の名称	当社に適用される要求事項	当社の対応	届出先	担当部門	評価時期	証拠となる記録等	遵守状況	
							環 責 任 管 理 者	事 務 局
							評価	確認
水質汚濁防止法	(事故時の措置) ・ 特定事業場の設置者は、有害物質又は油を含む水が公共用水域に排出され、又は地下浸透し、人の健康又は生活環境に被害が生じる恐れのあるときは、直ちに応急措置を講じ、知事に届出	規制遵守	知事	機材センター	事故発生 の都度	届出控	該当なし	該当なし
	・ 特定事業場以外で貯油施設等を設置するものは、事故が発生し、油を含む水が公共用水域に排出され、生活環境に被害が生じる恐れのあるときは、直ちに応急措置を講じ、知事に届出	規制遵守	知事	工事部門	事故発生 の都度	届出控	該当なし	該当なし
消防法	(第4類危険物の指定数量) 第二石油類(非水溶性)：1000ℓ—灯油、軽油等 (水溶性)：2000ℓ 第四石油類：6000ℓ—ギア油等	規制遵守	消防署	機材センター	1回/年	少量危険物の貯蔵 取扱管理記録	適	適
河川法	一日50m <sup>3</sup> 以上の汚水を河川に排水する場合	規制遵守	河川管理者	工事部門	対象の都度	届出控	該当なし	該当なし
道路法	公共道路を使用する場合	規制遵守	道路管理者	工事部門	道路使用 (占有時)	届出控	適	適
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器が使用されている場合	規制遵守	—	総務部	1回/年	機器点検表	適	適

## 環境関連訴訟等の有無

関係機関及び近隣住民からの環境関連訴訟等に関して現在及び過去1年間、1件も発生しておりません。



## 代表者による全体評価と見直しの結果

### 代表者による全体評価

総排出量を前年度比マイナス1%とした目標と掲げているが、今期は電力、化石燃料、LPG、紙資源、の項目で未達成となった。前年と比べ工事量の大幅増加、また、自然災害の発生による緊急対応（地すべり、土石流への対応）が増加への要因となった。

工事量に比例して「人・物」は必然的に増加し、それに伴う各項目の排出量が増えることは否めない。その一方、売上高百万円当たりのCO<sub>2</sub>排出量はこちら数年は横ばいで、社内全体のエコ意識は高まっていると考えられる。その中で、先を見据えた計画が立て難いというのが現状であるが、環境に配慮した工法の提案、建設資材の再利用、資源の節約、エコ運転等、社員一人ひとりが今出来ることから取り組み、環境にやさしい社会づくりに引き続き貢献していく。

### 見直し

#### 『環境方針』

変更の必要性：無

引き続き、環境方針に定められた取組みを継続して取組む。

#### 『環境目標・活動計画』

変更の必要性：無

下記の項目について来期以降、積極的に取組む

- ・エコ運転、アイドリングストップの徹底
- ・現場への効率的な移動（相乗り、不用な荷物をおろす等）
- ・日常車両点検及び燃費管理の徹底（オイル交換、空気圧等）
- ・燃費の良い建設機械の選択、環境負荷のかからない効率的な運転
- ・現場廃棄物を削減できる工法、材料の選択
- ・環境に配慮した設計提案、施工の実践

#### 『その他』

変更の必要性：無